



福井県立病院

がん医療センターのご案内

がん医療センターの概要

○本県におけるがんの高度な診断治療・臨床研究の拠点

・県民の皆様が高水準のがん医療を受けることができるよう、胃がん・大腸がんなど6つの重点がんごとに「チーム医療」を順次導入し、さらに放射線治療や化学療法等の体制を充実するなど、患者様個人に合わせた医療を提供するため、県立病院内に「がん医療センター」を開設しております。

(開設内容)

- ①主治医と複数の専門医（外科、消化器内科、腫瘍内科、放射線科等）による胃がん・大腸がんのチーム医療の導入
- ②「胃がん・大腸がん専門外来」の開設（2階 8受付）
 - …胃がん：月・水・金曜 大腸がん：火・木曜
 - 今後段階的に他の臓器に拡張
- ③「血液・腫瘍内科」の設置（1階 3受付）…専任の腫瘍内科医による外来化学療法の実施
- ④「外来化学療法室」の充実（1階 3ブロック）…16床体制による外来化学療法の充実
- ⑤「がん専門病棟」の設置（10階北病棟 49床）…専用病棟で、さらに十分な治療・看護を実施

がん医療センターの特徴

○治療成績全国トップレベルを目指す体制

【主ながん（胃、大腸等）ごとにチーム医療の導入】

医療の質の向上……チーム医療の導入による入院期間の最適化や5年生存率の向上
治療成績の向上……最新の医学データをもとに、複数の専門医や医療スタッフの会議による最適な治療方法の選択（カンサーボード）

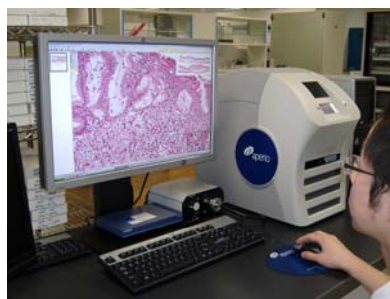
○患者満足度の向上につながる環境

患者中心の医療の実現……わかりやすい治療方針の説明と治療法の選択肢の提示
安心感の向上……診断から治療まで一貫した診療体制の整備
治療に対する相談機会の充実



カンサーボード

主治医と複数の専門医による臓器別のチームに、看護師や薬剤師など、他の医療スタッフも加わり、各患者様の症例を検討し、治療方針や治療方法を決定していきます。



バーチャルスライドシステム

体から採取した組織の様子を電子画像データとしてコンピュータに取り込むための装置で、カンサーボードにおいて、必要な時に必要な部分を取り出して表示することが可能です。



胃がん・大腸がん専門外来

(2階外来 8受付)

福井県のがんの罹患率が高い胃がん・大腸がんについて、専門外来を開設し、専門医が診療を行います。今後、肺、肝臓などの主要臓器のがんについても拡大していく予定です。



血液・腫瘍内科(1階外来 3受付)

化学療法の専門医(腫瘍内科医)による診療や外来化学療法を行い、より安全で最適な抗がん剤治療を行います。



外来化学療法室(1階外来 3ブロック)

各ベッドにベッドサイドTVを配備しており、ベッドにもリクライニング機能が備わっているため、TVを視聴したり、読書をしたりしながら、より快適に治療を受けることが可能です。



がん専門病棟(10階北病棟 49床)

がん治療の専門病棟で、さらに十分な治療・看護を実施します。